

013 ~  
を考える

体策

プ

求む人  
あり  
店舗  
あり

# 市民討議会～これからの湖北 2013～

エネルギーの地産地消を切り口に魅力ある地域づくりを考える

## 検討すべき課題

- ① 放地している森林地を  
利用できないか？
- ② 減反地を固定できないか？

## 付加価値を高める具体策

- ① 30年以上の木を伐採し  
湖北の酒造文化と共通し一面を  
醸成要素を増加減らし  
もつバイオマス発電により再生可能な  
エネルギーのサイクルをこうとする。
- ② 減反地を固定し、太陽光パネル  
設置。

強み

良い地下水が  
ある。

震災が少い

ビワの品種  
をもち  
メロンがおいしい  
発電  
→ バイオマス

弱み

改革を怖がる  
↓ 市民性  
(変化)

Bグループ

(水資源)

ZUN  
水がAAの琵琶湖の水が  
多い。

田舎上り  
人が少い

少子化で、更に  
若者が少なくなる  
若者が  
外へ出ていく  
約20年が危ない

山に木が  
多い

④  
森林が多くある  
(木を利用できる)

山も地主  
判らない  
所が多い  
では？

田舎も  
放地が多い

課題  
森林をうまく  
利用

人も家も  
少ない

よがある

⑤  
定住  
バイオマス設置  
したい

田舎が多い  
農業が多い  
肉板材は  
湖地に  
多い

課題  
事業所の協力が  
必要  
(市の使用電力84%が  
事務所)  
人が消極的

雪が多い

電車が少ない

ゴミ処理場  
でエネルギーの  
利用

日光をたくさん  
取りたい  
建築物が多い

画像が多い

木は  
駅にインターチェンジ  
が近い

課題  
県と連携が  
むずかしい

失業率が高い

人が親切  
(成功は人にある!!)

⑥  
おいしいものが  
いっぱいある

歴史がある

雪がふる

雪氷冷熱エネルギーが  
入る

消極的で  
個人主義的  
な人が多い

原案から近い

海がない

観光地である

スポーツの  
活用  
(宿泊 日帰り  
軽スポーツの活用)

⑦  
イベント  
の活用  
時-カ-